



2025年11月13日

各位

会社名 A p p B a n k 株式会社

代表者名 代表取締役社長 白石充三
(コード番号: 6177 東証グロース)

問合せ先 管理部長 渡邊泰弘
(TEL. 03-6302-0561)

特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2025年12月期第3四半期連結会計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の内容

2025年6月30日付「株式会社PWAN及びmusica lab株式会社との株式交換（子会社化）に関する基本合意書締結のお知らせ」及び同8月4日付「(開示事項の経過) 株式会社PWAN及びmusica lab株式会社との株式交換（子会社化）に関する株式交換契約の締結に関するお知らせ」の開示にてお知らせいたしました株式会社PWAN（以下、「PWAN社」といいます。）及びmusica lab株式会社（以下、「musica lab社」といいます。）を株式交換により完全子会社化しました。PWAN社及びmusica lab社の株式の取得原価は、株式交換比率を元に算定した交付株式数に、企業結合日（みなし取得日）における当社の株価を乗じて算定しておりますが、株式交換契約締結の公表後から企業結合日（みなし取得日）までの期間において当社株価が大きく上昇したことから、取得原価のうち、のれんに配分された金額が相対的に多額となりました。

当社は、PWAN社及びmusica lab社ののれんを含む固定資産について、減損の兆候に該当するとともに、減損損失を認識する必要があるものと判断しました。このため、当社において減損損失を測定したところ、事業計画に基づく将来キャッシュ・フローの割引現在価値として回収可能価額を算定することにより、PWAN社について減損損失123,494千円及びmusica lab社について減損損失203,063千円を計上することとしました。その結果、2社合計で減損損失326,557千円を特別損失として計上することとなりました。

2. 業績への影響

上記の減損損失につきましては、本日公表の「2025年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。当社は連結業績の予想を非開示しております。つきましては、引き続き、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概要のタイムリーな開示に努める方針とさせていただきます。連結業績予想につきましては、今後、合理的な業績予想が開示できる状況になる場合には速やかに開示いたします。

以上